

今後の予定

平成25年度 農林水産物・食品の輸出に係る物流検討会

検討内容

<第1回検討会(H26.1.24)>

農林水産物・食品輸出に関する現状、事業者の農林水産物・食品の輸出取引の現状を踏まえ課題の確認

<第2回検討会(H26.2.25)>

コールドチェーンの海外展開事例紹介、農林水産物・食品の輸出の課題と対応の検討

- 国内物流の広域的なマッチングイメージ
- 鮮度保持した輸出入貨物のマッチングイメージ

<第3回検討会(H26.3.19)>

農林水産物・食品の輸出に係る物流検討会のまとめ

更なる議論の深化

平成26年度予定 戦略実行委員会 物流部会(仮称)

検討内容(案)

- システム構築及びシステムの利便性について
- システム運営のあり方について
- システムの利用者拡大方策について
- 海外販路拡大方策について
- など

【事務局:農林水産省・国土交通省】

戦略実行委員会

関係省庁連携

情報共有

輸出関連事業者を広く招集し、輸出をめぐる状況(諸外国の規制等)、輸出促進関連事業の活用状況、これらを踏まえた輸出戦略の実現に向けて取り組むべき課題等について議論

マッチングシステムについて(システム構築の課題)

システムの利便性

- アクセス性について(検索しやすくするための条件は何か)
- わかりやすさについて(シンプルな階層、データ構成は何か)
- 情報保護について(情報セキュリティをどう保つか) など

システム運営のあり方

- システム保有について(中立性、対外発信性の強さ等どのような観点が必要か)
- システム運営の作業について(データ更新、保守点検等どのような作業が発生するか)
- コストについて(どのくらいの利便性を求めるか) など

利用者拡大方策

農林水産物・食品に関する団体などが会員の農林水産物等輸出促進全国協議会(会員数156)や物流事業者、荷主などが会員のグリーン物流パートナーシップ会議(会員数3,314)等を活用しシステム利用の普及を行う。 など